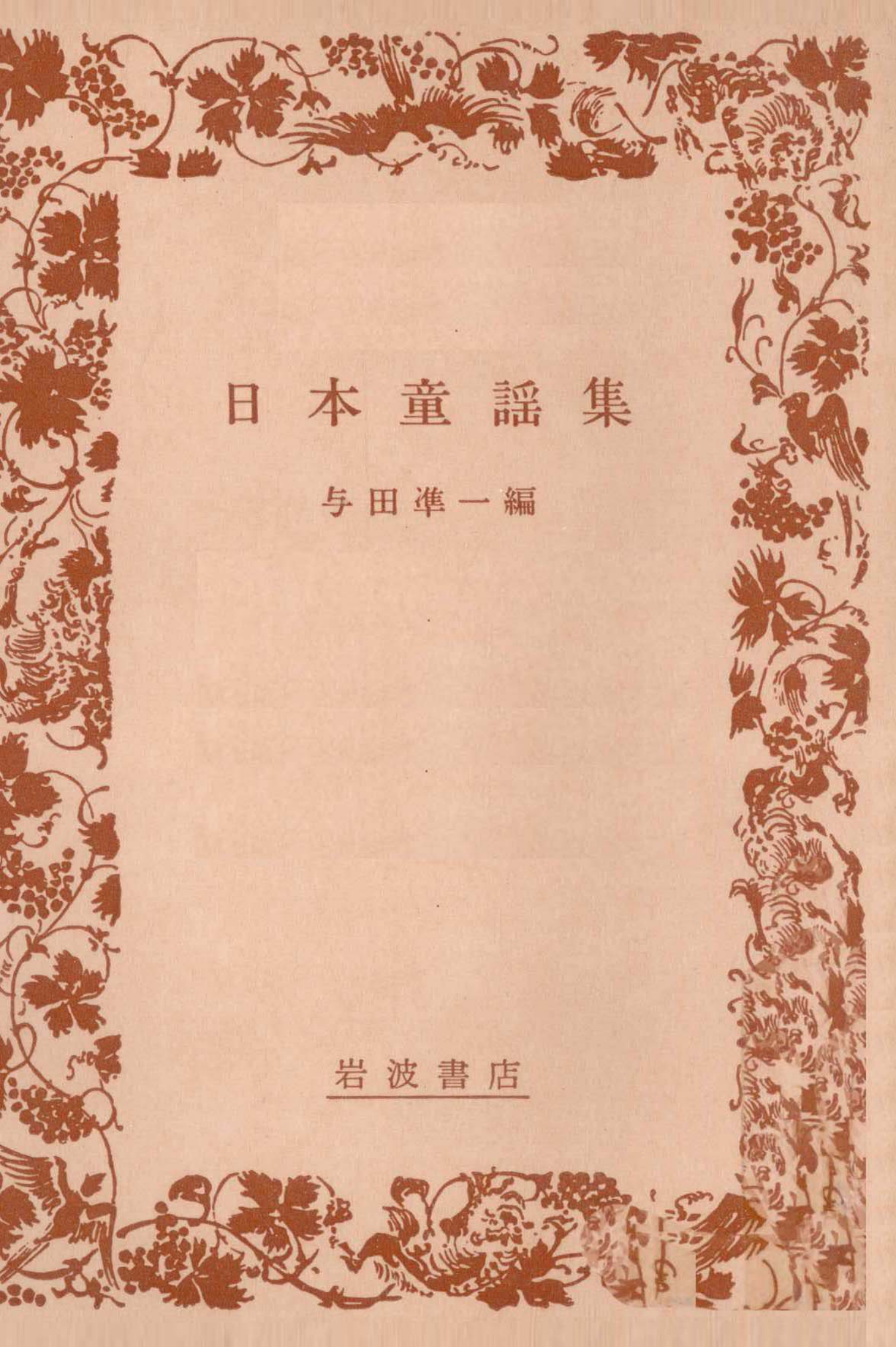




日本童謡集

与田準一編

岩波書店

日本童謡集

日本音楽著作権協会
(出)許諾番号第 8213535-428 号

1957 年 12 月 20 日 第 1 刷発行 ©
1984 年 5 月 20 日 第 28 刷発行

定価 450 円

編 者 よ た じゅん いち
 与 田 準 一

発 行 者 緑 川 亨

〒101 東京都千代田区一ツ橋 2-5-5

発 行 所 株式 岩 波 書 店
 会社

電話 03-265-4111

振替 東京 6-26240

印刷・精興社 製本・桂川製本

落丁本・乱丁本はお取替いたします

Printed in Japan

日 本 童 謡 集

与 田 準 一 編



岩 波 書 店

まえがき

大正七年（一九一八）七月、童謡童話雑誌「赤い鳥」創刊から、「金の船」「童話」「コトモノクニ」その他の児童雑誌が童心文化の一時期をつくった大正時代をへて、昭和二十年（一九四五）八月の戦争終結に至る約三十年に近い間に発表された多数の童謡の中から、すぐれた作品三百余篇を選抄して、『日本童謡集』一卷としました。

作品の選定については、歌謡体の詩としてすぐれている童謡を中心に、私たちのあいだで広くうたわれているものを集録しました。また、わが国におけるこれらの創作童謡が、どのような発展過程をへてきたかが理解できるように、三百余篇の作品をその発表年代順に配列しました。あわせて発表誌とその発表年月を明記することに努めました。各篇末尾の『』は単行童謡集、「」は発表雑誌を示し、月刊でない不定期刊行雑誌にかぎり雑誌号数を示しました（例えば、「チクタク」など）。なお、便宜上、^{べんぎじょう}大正十三年五月を、^{だいじゅうご}大正十三年五月を、^{りやくふごう}の略符号で示してあります。

収録しました各作品の文字表記は、初出の写し原稿を作者と著作権者の方に提出して再検討していただきました。また、いまの子どもたちでも読めるように、作者と著作権者の諒解^{りようかい}をえて、現代かなづかいに改め、多少のふりがなを施^{ほどこ}しました。ただ、初版発行までに、宇野暮江、金子みすゞ、島田忠夫、杜仙之介、柳曠、吉田テフ子、諸家の所在をあきらかにすることができなかったため、これらのひとびとの作品については、現代かなづかいに改め初出の表現のままで収めざるをえなかったことを、おことわりしておきます。

曲譜とさしえカットの収録についても、各作曲家、各画家の諒解をえたものであります。ただし、岩岡とも枝、小笠原寛三両画家は所在不明のため、諒解をえないまま、編載したことを、おことわりしておきます。

本文作品と曲譜記載の歌詞に異同の箇所がありますが、それは文献曲譜のまま掲出したもので、異同の生じた事情なり理由が不確かなため敢えて統一しませんでした。(例えば「かなりや」二連一行め「埋^いけましょか」は、譜面では「うめましょか」になっている。)なお、曲譜の採択は代表的なものの一部にとどめ、作曲年月の記載未載ももとの譜面のまま不問としました。

巻末に、「うたいだし」による索引をつけて読者の方がたの便宜とし、あわせて作曲者名を附記しました。

昭和三十二年九月

与 田 準 一

岩波クラシックス版刊行に際して野口雨情「黄金虫」「しゃぼん玉」の初出誌は「金の塔」、相馬御風「春よ来い」は童謡集『銀の鈴』と判明し、発表年月の異動に従って生じた作品の配列順と共に改訂しました。

昭和五十八年一月

編 者

目次

作品目次	六
曲譜目次	一七
挿絵目次	一七
大正時代	一九
昭和時代	一八三
解説	二八五
参考文献	二九七
うたいだし索引	三〇七

作品目次 (作者別 アイウエオ順)

青木存義

どんぐりころころ 八〇

浅原鏡村

てるてる坊主 九

有賀連

蟻^{あり} 二八

大きなお風呂 一五

夜店^{よみせ} 一七

一瀬幸三

輪投げ^{わな} 二七

泉 鏡花

あの紫は 二

伊藤真蒼

袋 九

宇野暮江

土筆の僧正^{つくし そじよう} 一七

海野 厚

おもちゃのマーチ 一〇三

背くらべ 四一

露地^{ろじ}の細道^{ほそみち} 四一

岡 一太

同じ仲間^{なかま} 二六

岡田泰三

丘のはたけ 一九二

仔鹿^{こしか} 一九八

小川未明

海と太陽 三一

小口吉太郎

一程^{いしり} 二四

鹿島鳴秋

お山^{やま}のお猿^{さる} 四二

金魚の昼寝^{ひるね} 四二

浜千鳥^{はまぢどり} 四三

加藤まさを

工場の子^{こうば} 八二

月の沙漠 一〇〇

盗んだ薔薇	七二
金子みすゞ	
大漁	一一四
河井醉茗	
お船	一一五
つばな	一七三
川路柳虹	
秋のお庭	一五五
雨の脚	一七五
北原白秋	
アイヌの子	一五六
赤い鳥小鳥	二六
朝	八九
足踏み	一五九
雨	二三
アメフリ	一五四
あわて床屋	三〇
兎の電報	三五
海の向う	一九三

追分	一九〇
オチタツバキ	一六四
お月夜	一六〇
お祭	二四
かえろかえろと	一三四
かやの木山の	九六
からたちの花	一二四
クリスマス晩	二四八
子供の村	九四
この道	一七七
こんこん小山の	七〇
今夜のお月さま	六三
五十音	一〇七
サヨリ	二四六
酸模の咲く頃	一四五
砂山	九五
世界の子供	一九四
ちんちん千鳥	六一
月へゆく道	二〇三

鐵工場	一八五	角兵衛獅子	一三八
薔薇	一六一	霜夜	一七七
東へ行けば	一三四	後藤檜根	
ブイ	一八六	思ったこと	二〇二
吹雪の晩	一八六	月夜の棉畑	一九九
ペチカ	一三八	小林純一	
待ちぼうけ	一四〇	青物市場	二四七
山のあなたを	二六	トマト	二五三
雪のふる晩	四四	病氣	二三五
摇篮のうた	七六	高麗弥助	
夜中	一四三	町のおばさん	二三七
栗鼠、栗鼠、小栗鼠	二	小松清	
木村不二男		堤	八〇
アイヌの子	二三三	古村徹三	
葛原しげる		野茨の新芽	一七二
一本葦	一五二	繭のお山	二五四
夕日	八一	近藤益雄	
夢見花	一五五	網揚げ	二三四
久保田宵二		西條八十	

蟻 あり		五
エービーシー		
A B C		一六
鉛筆 えんぴつ の心 しん		三
お菓子 かし の家 いえ		三六
お菓子 かし の汽車		五二
おみやげ みやげ 三つ		三三
お山の大將		五三
かくれんぼ		六九
肩たたき		一〇六
かなりや		二七
烏 からす の手紙 てがみ		四
木のぼり たえもん 太右衛門		一九
薬 くすり とり		一九
九人の黒んぼ		八
怪 け 我 が		四七
訝 こたま		一八
ズイズイズッコロ橋		二四九
その夜の侍		一八七
つくしんぼ		六九

手 て 品 じな		二九
泣きぼくろ		一八
なくした鉛筆		三
花 はな の種子 たね		一六
薔 ば 薇 り		三
鞠 まり と殿 との さま		二二
震 ふる る夜		一四
村の英雄 えいゆう		一〇三
山の母		三八
夕 ゆう 顔 がお		四
雪の手紙		二〇
酒井良夫		
ヘイタイゴツコ		二〇〇
サトウ・ハチロー		
赤牛 あかや 病 や む		三九
秋の夜		二五四
イエス・キリスト		一九
胡 くる 桃 み		一七
ちいさなちいさな水車 みづぐるま		三二

トランプ	一七六	ほろほろどり	二〇七
鳥小舎 とりこや の雨	一四六	真田亀久代	
落花生 なんきんまめ	二四〇	えのころぐさ	二二六
ビスケツト	一三二	コチカル	二六二
めんこい仔馬	二七七	柴野民三	
木馬 もくば	二四二	秋	二〇九
百舌 もず よ泣くな	二五五	冬空	一九七
佐藤義美		虫	二三五
小母 おば さまと菊	二三三	島木赤彦	
おぼえてる	一五八	驢馬 うさぎうま	一二六
木の实号 きみごう	二五七	行水 ぎょうずい	九〇
グッド・バイ	二五二	諏訪 すわ の殿様 とのさま	一六六
たんぽぽ	一七〇	どんぐり	一〇四
チヨウチヨノ町	二三三	蜻蛉 とんぼ	九三
月の中	二〇一	庭風呂 にわぶろ	九
でんしゃ	二〇四	葱坊主 ねぎぼうず	一二二
夏	一四九	法螺 ほら の貝 かい	一〇八
昼のお月さん	二二六	山の茂作 やまもさく	六
ボクトキミ	二六六	島崎藤村	

蟬の子守唄	二二七	相馬御風	一四四
島田浅一	二二七	学校のかえり	一四四
乳を飲ませに	二二七	春よ来い	一〇五
島田忠夫	二二七	船の灯	九三
鹿	二二〇	武内俊子	二六三
巢	二二三	赤い帽子白い帽子	二六三
田螺(一)	二九	かもめの水兵さん	二五九
田螺(二)	二二三	船頭さん	二七九
清水かつら	二二三	リンゴのひとりごと	二七四
あした	二五四	武田幸一	二二〇
靴が鳴る	二九	門	二二〇
叱られて	二八	竹久夢二	二二〇
雀の学校	二八	喧嘩	七七
清水たみ子	二八	尺取虫	三五
うたたね	二三八	ぼくのボール	一一七
雀の卵	二二〇	多胡羊歯	一一七
白鳥省吾	二二〇	くらら咲く頃	一九六
木びき	二七	祭人	一六八
鶏と真珠	二七	巽 聖歌	一六八

風		二二
子雉 こぎす		一六三
辛夷 こぶし		二〇二
コロボツクル		二七八
たきび		二八〇
地下鉄工事		二四三
法律		二五八
ボクハ技師 ぎし		二七一
蜜柑 みかん		二五七
水口 みなぐち		一五三
田中善徳		
石炭積み せきたんづ		二二四
玉置光三		
さらさら川の蜩 しじみ		一七六
茅野雅子		
しゃぼん球 だま		五〇
春風のうた		四六
ぶうらんこ		五七
千葉省三		

みずぐるま		一四九
茶木 滋		
馬		二七六
とても大きな月だから		二三一
都築益世		
あかちゃんのお耳		二八一
うらみち		一三三
てんとうむし		五
はたけのいちご		一八九
葡萄 ぶどう の実		五八
寺田宋一		
朝 あさ の空 そら		一八〇
中村雨紅		
夕焼小焼 ゆうやけこやけ		一〇九
新美南吉		
島		二三九
西村酔香		
南京玉 なんきんだま		一五一
野口雨情		

青い眼の人形 あおめ にんぎょう	八四	ねこねこ楊 やなぎ	一三六
赤い靴	八三	人買船 ひとかいぶね	四七
あの町この町 あまち まち	一四	貫い子	六三
雨降りお月さん あめふり つき	一三	蜀黍畑 もろこしばたけ	五一
兎のダンス うさぎ	一八	四丁目の犬	四五
帰る雁 がん	六	浜田広介	
カッコ鳥	一四	けんけん毛虫	九二
烏と地藏さん	七	こんこんぎつね	一二七
狐の提灯 きつね ちょうちん	一三	しじゅうから	四〇
キューピー・ピーちゃん	三二	みぞれ	九八
黄金虫 こがねむし	九	山のはたおり	七八
木の葉のお船 こは ふね	一六	平木二六	
山椒の木 さんしょう き	五	こども	一四七
汐涸れ浜 しおが はま	五一	平野 直	
しゃぼん玉	九七	春のくる頃	二二九
証城寺の狸囃子 しょうじょうじ たぬきばやし	一三〇	平林武雄	
十五夜お月さん つき	五	星	一六四
俵はごろごろ	一五七	深川二郎	
七つの子	七〇	田舎の子 いなか こ	二三五

富原 薫	六〇	汽車ぽっぽ	二六八
山の姫御	六〇	早起き時計	二六一
めえめえ児山羊	六四	細川雄太郎	二七〇
谷間の姫百合	七七	あの子はたあれ	二七〇
榎	五九	榎本楠郎	二七〇
藤森秀夫	二二〇	小さい同志	二二〇
東京	一九六	梶と燕と鶏	二〇六
風にきく	一九六	メーデーごっこ	一九五
藤井樹郎	一五二	まど・みちを	一九五
歌がるたで更した夜	一五二	雨ふれば	二五二
富士幸次郎	一六七	ふたあつ	二五六
つつましい秋	一九三	布袋戯	二六四
松葉の十字架	一五〇	三木露風	二六四
福井研介	一五〇	赤蜻蛉	二七四
小松姫松	一六七	黄金の泉	二七
つつましい秋	一九三	正午	五
歌がるたで更した夜	一五二	真珠島	三三
藤井樹郎	一五二	堇	四九
風にきく	一九六	初夏	六八
東京	一九六		
藤森秀夫	二二〇		
榎	五九		
谷間の姫百合	七七		
めえめえ児山羊	六四		
山の姫御	六〇		
富原 薫	六〇		

宵闇 よいやみ	八	山村暮鳥.....	六
三苦やすし.....		鰹釣り かつおづり	六
仲よし小道.....	二五	田圃 たんぼ にて.....	三
水谷まさる.....		結城よしを.....	
イタリヤの子.....	一四	ナイシヨ話.....	二七
ちいぢゃな風.....	一七	横瀬夜雨.....	
ゆうべ見た夢.....	二六	にしやどっち.....	一五
夢の木.....	一五	与謝野晶子.....	
村山知義.....		花子の熊.....	三
ひろった靴 くつ	六	願 ねが い.....	七
百田宗治.....		吉川行雄.....	
朝寒 あさむ	八	うすい月夜.....	二五
お葬 とむら い.....	一三	三日月 みかづき	一九
どこかで春が.....	一三	吉田一穂.....	
鳥籠 かご	一三	かりがね.....	九
杜仙之介.....		山かなし.....	一四
稲田の稲 いなだ いね	一八	吉田テフ子.....	
柳 やなぎ 曠.....		お山の杉の子.....	二二
牧場の朝 まきば あさ	一六	与田準一.....	